

2019年度、2020年度に卒業した看護学部生に対して、卒業後2年目、3年目になった今、日本赤十字看護大学での学びを振り返り、どのような力が身についたのか調査した。

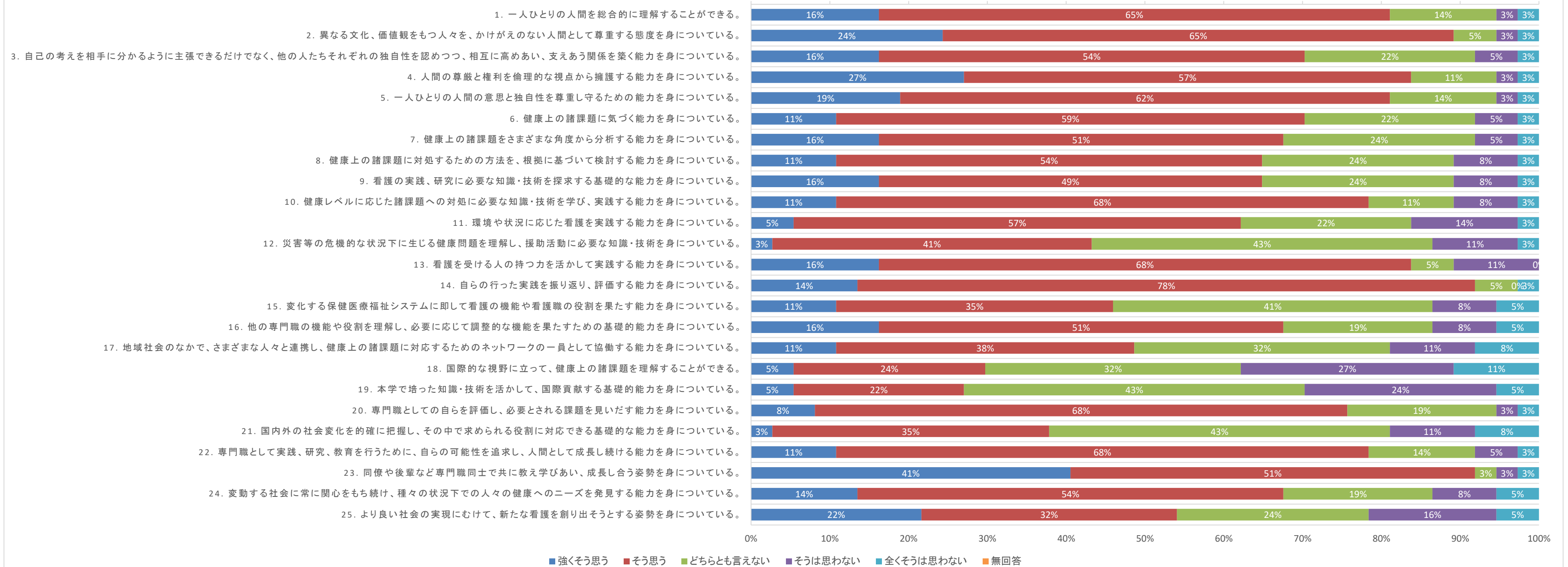
【調査時期】 2022年12月

【調査対象者】 2019年度、2020年度看護学部卒業生 37名

【回答率】 12.1%

【結果】

## I. 大学で学んだカリキュラム(教育内容)が身についているかどうか、回答してください。



卒業後、2・3年で身につけていると感じている割合の高い順に上位項目は、以下のとおりであった(強く思う、そう思うを合わせた割合)。

- ・自らの行った実践を振り返り、評価する能力(92%)
- ・同僚や後輩など専門職同士で共に教え学びあい、成長し合う姿勢(92%)
- ・異なる文化、価値観をもつ人々を、かけがえのない人間として尊重する態度(89%)
- ・看護を受ける人の持つ力を活かして実践する能力(84%)

- ・身につけているという回答が低かった項目は、以下のとおりである。
- ・本学で培った知識・技術を生かして、国際貢献する基礎的な能力(27%)

2019年度、2020年度に卒業した看護学部生が就職した施設の看護管理者に対して、卒業後2年目、3年目の卒業生が平均的にどのような力が身についたのか質問した。

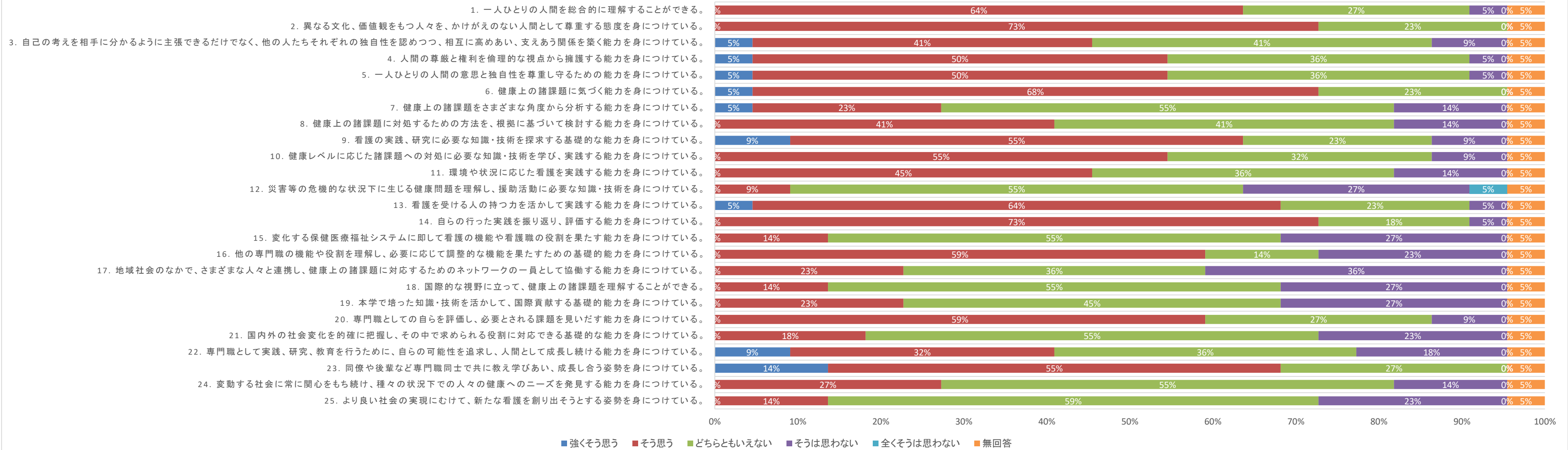
【調査時期】 2022年12月

【調査対象者】 2019年度、2020年度看護学部卒業生が2名以上就職した医療施設の管理者 22名

【回答率】 78.5%

【結果】

I. 日本赤十字看護大学のカリキュラムは、以下の能力を「卒業時の到達目標」としています。貴院に入職した本学卒業生が、入職2年目の時点において、以下の項目の能力を身につけているかについて、入職2年目の時点における本学卒業生の平均的な姿を想定してご回答ください。ご回答ください。



看護管理者が本学卒業生に対し、卒業後2・3年で身につけていると感じる力について、割合の高い順に上位項目は、以下のとおりであった(強くそう思う、そう思うを合わせた割合)。

- ・異なる文化、価値観をもつ人々を、かけがえのない人間として尊重する態度(73%)
- ・健康上の諸課題に気づく能力(73%)
- ・自らの行った実践を振り返り、評価する能力(73%)
- ・同僚や後輩など専門職同士で共に教え学びあい、成長し合う姿勢(69%)

身につけているという回答が低かった項目は、以下のとおりである。

- ・災害等の危機的な状況下に生じる健康問題を理解し、援助活動に必要な知識・技術(9%)